

令和5年

目黒区教育委員会

第43回定例会会議録

(令和5年12月19日開催)

第43回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和5年12月19日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	川嶋春奈
	教育委員会委員	片山 寛
	教育委員会委員	若井田 正文
	教育委員会委員	松村 真理子

出席職員	教育次長	樫本達司
	教育政策課長	濱下正樹
	学校統合推進課長	西原昌典
	学校運営課長	関 真徳
	学校ICT課長	藤原康宏
	学校施設計画課長	岡 英雄
	教育指導課長	寺尾千英
	教育支援課長	山内 孝
	統括指導主事	鈴木将大
	統括指導主事	石邑由紀子
	生涯学習課長	斎藤洋介
	八雲中央図書館長	伊藤信之

書記	小見哲一
	矢吹翔太

(議事日程)

日程第 1	報告事項	令和 5 年度小・中学校卒業式祝辞について
日程第 2	報告事項	目黒区生涯学習実施推進計画（令和 4 年度～令和 8 年度）の進捗状況について
日程第 3	報告事項	区内の医療機関及び大学の図書室等との連携について（案）
日程第 4	報告事項	目黒区立図書館での公衆無線 LAN サービス（Wi-Fi）の導入について（案）
日程第 5	報告事項	令和 5 年度学級閉鎖等の状況（12 月 18 日現在）

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和5年第43回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はいません。署名委員は、松村委員です。それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和5年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

- 統括指導主事 (資料により説明)

- 教育長 ただいま事務局から説明がありましたとおり、今後の進め方については今回と次回の2週にわたって、主題、題材の検討を行います。

題材については、小・中学校それぞれ4つずつ示されていますが、本日それぞれ2つに絞り込み、次回、小・中学校それぞれ1つに決定したいと思います。

そして年が明けて、第3回と第4回で文案の協議を行いまして、第5回には教育委員会として文案を決定します。

また、この祝辞は、教育委員会と区長の連名になりますので、最終的に区長の確認をいただいた上で決定となります。

このようなスケジュールで進めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、この予定に沿って進めてまいります。

本日、事務局から小学校の題材として4例、中学校の題材として4例が提示されていますので、委員の皆様から題材を2つずつに絞り込むためのご意見をいただきたいと思います。もし、それ以外に題材があれば、そのご提案もいただきたいと思います。

それでは、委員の皆様全員から、順に、ご質問も含めてご意見をいただきたいと思います。

- 委員 この場で、小・中それぞれ2つずつ決めるのは難しいところですが、小学校はジョン万次郎が一番良いと思いました。4年ぶりの演劇鑑賞教室で、私も児童と一緒に「ジョン万次郎」を鑑賞しましたが、児童の鑑賞態度も良く、しっかりと見て聴いていましたし、題材にすると良いのではないかと思います。

2 番目は、日本の伝統文化「折り紙」による技術開発です。

過去の祝辞の題材に折り紙はありましたが、その当時とは全く異なる発展をした「折り紙」の話になるのではないかと思いますので選びました。

中学校は、令和 6 年に新札が発行される渋沢栄一と、目黒の教育 150 周年です。目黒の教育 150 周年は、小学校の題材にもありますが、小学校、特に八雲小学校では 150 周年が話題になったと思いますので、小学校ではなく、中学校でも共有していくのが良いのではないかと感じたため選びました。

○委員

祝辞は明るいことを述べるのが良いと思います。子どもたちの未来について考えると、新しい価値を創造するという「対話型生成 AI 技術の開発」という主題は素晴らしい祝辞が出来るのではないかと思います。

小学校の題材例にある「ジョン万次郎」は、第 6 学年児童全員が鑑賞したということと、一生懸命、困難を克服して活躍したという内容で良いと思います。

また、挑戦すれば世界に羽ばたけるというメッセージを伝えるために、世界で活躍する日本人野球選手や、子どもの時から好きな将棋に取り組んで八冠を達成した棋士等に関する題材も、良いのではないかと思います。

中学校の題材は、「国産対話型生成 AI 技術の開発」が良いと思います。新しい価値を創造するということは、未来を生きていく子どもたちにとってはとても大切なことだと思います。また、小学校と同様、世界に羽ばたいた野球選手の話など、子どもたちに希望を持たせる題材も良いのではないかと思います。

○委員

小学校と中学校に共通して、対話型生成 AI 技術の開発の話題が挙げられていますが、対話型生成 AI については、様々な課題が指摘されています。

例えばドローンという機械は非常に便利で、離島や僻地に物を運ぶなど、物流関係で良い手段になると言われていたり、大型化して空飛ぶ車のようなものも考えられていますが、現在ウクライナの戦争では、ドローン兵器が非常に大きな役割を担っていて、人々を殺傷しています。

どんな便利なものでも使い方が大切で、どのように人類の進歩と幸福のために使用するかという視点が大事なのではないかと思います。

祝辞の題材とするときは、プラスの面だけでなく、気を付けなければいけないこと、どういうためにそれを使用するのかを明確に述べていただきたいと思いました。

特に中学校に関しては、もう義務教育が終了するという段階にあるので、そのような点に触れていただきたいと思います。

また、小学校については、日本の伝統文化「折りガミ」を題材とすることについては、やや古いのではないかと感じました。

日本の文化が様々な科学技術に応用されているということは非常に素晴らしいと思いますが、卒業式においては、特に日本のことにこだわる必要はないと思います。

困難を克服して、人類のために貢献した人々は沢山います。例えば、今年ノーベル賞を受賞したメッセンジャーRNAのワクチン開発の研究者ですが、その基礎研究を行っているときは、非常に困難な状況があったにもかかわらず、それを生涯の研究テーマとして扱ったことがワクチン開発に寄与して、多くの人々の命を救ったと言われています。そのような世界的な視点から題材を得ても良いのではないかと思います。

それから、「こども基本法の施行」については、あまりふさわしい題材ではないと思っています。こども基本法そのものは意味のある法律だと思っていますが、中学生は、数年後に民法上は成人になり、選挙権を得るという時期に当たります。

日本では、中学生や高校生、大学生になっても社会人ではないという考え方、つまり「大きな子ども」の意識があります。一方、西洋では小さくても大人として扱うことで、「小さな大人」として個の確立というものを重視します。

こども基本法を受け、子どもが意見を持ち、社会参加していくことも大切だと思っていますが、中学校を卒業するということは、3年後には成人となり、社会人として歩んでいくのだということを、しっかり述べられる題材が良いと思います。

また、小学校の対話型生成AIの題材例として「個人の課題や悩み、相談に基づき、具体的な提案を行う」という表現が記載されていますが、これは本来の生成AIの目的と異なると思います。

確かに対話型生成AIを家庭教師の代わりとして、独学を充実させている人もいますが、例としては違和感を感じました。

小学生を念頭に置いて例を書かれたかと思いますが、これも

大きな子どもと小さな大人と同じような考え方ですが、もう少し正確に対話型生成A Iの狙いや目的を述べても良いのではないかと思います。

○委員

本日挙げていただいた題材は全て重要なものだと思います。

私としては、目黒区教育委員会からの祝辞ですので、子どもたちに目黒区で教育を受けたという記憶が残るようなものがふさわしいのではないかと思います。そのため、小学校も中学校も「目黒の教育150周年」を題材に取り上げるのが良いと思いました。

また、小学校では「ジョン万次郎」については、目黒区のパーシモンホールで第6学年の全児童が鑑賞したということであれば、印象に残るのではないかと思いますし、外国との懸け橋ということで「国際化」というテーマも同時に扱えるのではないかと思います。

「渋沢栄一」をはじめとする固有名詞を含む題材については、目黒区と何らかの関わりがあるのであれば、目黒区の学校の卒業式の祝辞のテーマとしてふさわしいのではないかと思います。が、そうでなければ、世間で話題となっている人物をただ取り上げただけだということにもなりかねないので、出来れば、目黒区にゆかりのあるテーマを取り上げるのが良いのではないかと思います。

○教育長

委員の皆様から多様なご意見をいただきました。

挙げていただいた数で整理しますと、小学校では「対話型生成A I技術の開発」と「ジョン万次郎(4年ぶりの演劇鑑賞教室)」、中学校では「国産対話型生成A I技術の開発」と「目黒の教育150周年」を題材とすることによろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

委員の皆様からは、題材について様々な切り口で貴重なご意見を多々いただきましたので、それらも生かして、文案に反映させていきたいと思います。

それでは次回、小学校、中学校それぞれに、どちらの題材とするか、検討を行うこととします。

次に、日程第2を議題とします。

(日程第2 目黒区生涯学習実施推進計画(令和4年度～令和8年度)の進捗状況について(報告事項))

○生涯学習課長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第3を議題とします。

(日程第3 区内の医療機関及び大学の図書室等との連携について(案)(報告事項))

○八雲中央図書館長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。

○委員 区内の医療機関と図書館が連携するという方向性は良いことだと思います。

資料の項番5「具体的な事業内容」の(1)それぞれの特徴を生かした取組の部分に「医療機関の図書室からは、専門性を生かし、区立図書館の資料に対する助言を受け」と記載されています。

これについて、医療機関の図書室にある資料を、目黒区民が見ることが出来るようになるのでしょうか。また、区民にとってどのようなメリットがあるのかを教えてください。

また、今回の事業のサービスに関して、特に料金等は発生せず、無償で相互に行うのかどうかについても教えてください。

○八雲中央図書館長 相互協力ということで連携機関から借りることも想定されますが、医療機関の図書室から助言を受けた書籍について、館の予算で購入を検討する場合があります。

また、医療機関では学術的な書籍は一通り揃っていると聞いていますが、闘病記のようなものはあまり扱っていないと聞いています。病院等の図書室にこれまで置いていなかった書籍等を区が貸し出して入院患者等に利用していただくことが出来ますので、区内の医療機関や大学機関と連携を図るという意味で、一定の意義とメリットがあると考えています。

次に料金ですが、図書館基本方針に定める目指す方向性に沿って実施する事業の一つとして予算のかからない範囲で実施したいと考えており、現時点での予算措置は行っていない。

○教育長 本合意書は、これまで4者間で相互に進めてきた取組等につ

いて、改めて整理して確認するという意味合いを持つものですが、この取組について、健康福祉部には情報提供はしているのでしょうか。

○八雲中央図書館長 合意に向けて検討する段階で、企画部門と健康福祉部門には情報提供や相談を行ってきました。合意書案も既に情報提供しています。

○教育長 その他ご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第４を議題とします。

（日程第４ 目黒区立図書館での公衆無線LANサービス（Wi-Fi）の導入について（案）（報告事項））

○八雲中央図書館長 （資料により説明）

○教育長 この件についてご質問等がありますか。

○委員 Wi-Fi が繋がれば、通信料が無料になるため、必ずしも図書館でやる必要のないことを持ち込んで、長時間在席する人が出てくることが危惧されますが、そういったことに対して、どのような対策を考えているか教えてください。

○八雲中央図書館長 図書館のサービスとして、館内の巡回スタッフを配置しています。巡回スタッフ等が利用者の様子を伺いながら、必要に応じて声掛けをするということを考えています。

○教育長 その他ご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第５を議題とします。

（日程第５ 令和５年度学級閉鎖等の状況（１２月１８日現在）（報告事項））

○学校運営課長 （資料により説明）

○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。

○教育長 事務局から何かありますか。

○学校統合推進課長 （口頭による説明）

○教育長 その他なにかありますか。

特にないようですので、以上で本日の定例会を閉会します。

(午前 10 時 36 分閉会)